

令和5年8月定例教育委員会会議録

○日 時 令和5年8月24日(木) 午後3時～午後3時45分

○場 所 櫛引庁舎 3階 教育委員室

○出席委員 教育長 布川 敦
1番 百瀬 克浩(教育長職務代理者)
2番 清野 康子
3番 中村 公俊
4番 齋藤 美緒

○欠席委員 なし

○出席議事説明職員氏名

教育部長	永壽 祥司	参事兼管理課長	清野 健
学校教育課長	今野 新一	学校教育課指導主幹	渡邊 智
社会教育課長	沼沢 紀恵	社会教育課文化財主幹	五十嵐 雄
スポーツ課長	阿部 三成	中央公民館長	熊坂 めぐみ
図書館長	五十嵐 恭子	給食センター所長	小林 尚志
藤島庁舎総務企画課長併社会教育課主幹	小林 雅人		

○出席事務局職員氏名

管理課庶務係長 長瀬 陽彦

【会議次第】

1 開会

2 市民憲章唱和

3 会議録署名委員の指名

4 議事

日程第1 議第21号 鶴岡市教育委員会事務事業の点検・評価について

日程第2 議第22号 鶴岡市立図書館協議会委員の任命について(非公開)

日程第3 議第23号 市議会の議決を経るべき事件の議案に対する意見の申出について
(非公開)

5 報告事項

(1) 直木賞受賞50年記念企画展について

(2) 藤沢周平記念館講演会について

(3) その他

6 閉会

開 会 (午後3時)

- 教育長 ただいまから8月の定例教育委員会を開会する。はじめに市民憲章唱和を行う。
- (社会教育課文化財主幹が先唱し市民憲章唱和)
- 教育長 本日の会議録署名委員は、4番委員に願います。
- それでは議事に入る。はじめに、日程第1議第21号について、事務局より説明をお願いする。
- 管理課長 議第21号について説明する。
- 事務事業の点検・評価については、5月定例教育委員会において、対象事業を議決いただいた後、点検評価個票について委員の皆様から意見をいただくとともに、外部評価者からの点検と評価をいただいた。
- 今般、報告書案がまとまったので、改めて提案させていただく。
- なお、委員の皆様からは、これまで当該報告書にお目通しいただいているので、このたびの説明は、外部評価者による評価内容について、概要を説明する。
- 初めに管理・学校教育分野であるが、児童生徒、学校、地域の現状と課題をふまえ、各事業を実現しようとする前向きな姿勢により着実な成果が上がっている、と総括的な評価をいただいた。
- 個別事業について、「通学対策事業」では、スクールバスの運行、通学費助成による継続的な負担軽減に加え、新型コロナウイルス感染症を考慮し、借上げ車両増台による対策を講じていること、「学校改築事業」では、老朽危険校舎の解消と教育環境の改善に向け、大規模改築事業が予定どおり進んでいること、「学校冷暖房設備整備事業」では、特別教室も加え児童生徒に対する適切な学習環境が整備されていることについて、評価をいただいた。
- 「地域とともにある学校づくり推進事業」では、学校運営協議会における熟議を通して、学校と地域との現状、課題が確認され、相互協力関係が構築されつつあること、「GIGAスクール構想推進事業」では、ネットワーク通信環境の増強及びWi-Fi環境のない家庭への支援によりタブレット型パソコンの利用環境が円滑になったこと、「学校系ICT機器等整備運用事業」では、校務支援ソフト及びタイムレコーダー導入による校務の円滑化と効率化が推進されていることについて、評価をいただいた。
- 「学校給食センター管理運営事業」では、献立を通じた食文化の継承など、ユネスコ食文化創造都市としての特色を生かした取組みについて評価をいただいた。
- 次に社会教育分野であるが、感染症拡大防止策を適切に講じ、利用者の

声を聞きながら学びの門戸を開き、各事業は市の目標に沿って提供されていること、また、酒井家庄内入部 400 年に合わせた事業も企画され、評価、方向性について妥当であるとの総括的なコメントをいただいた。

個別事業についてであるが、「成人式・二十歳を祝う会事業」では、コロナ禍や法令改正などの状況下、中止することなく開催できたこと、「文化会館管理運営事業」では、外部委員会からの意見を生かしていることに加え、参加型事業も多く市民参加という観点からも評価できる、とのことであった。

「文化財管理保存事業」では、文化財は国民・地域の財産で、保存修理や被災後の復旧など継続的な関わりが必要であり、計画的な財源確保に努めてほしい、との意見をいただいた。

「中央公民館市民学習促進事業」では、工夫を凝らした講座を開催し市民の学習意欲を喚起していること、「藤沢周平記念館管理運営事業」では、展示事業やソフト事業に幅の広いプログラムが提供できている、と評価いただいた。

「図書館・郷土資料館管理運営事業」では、子供読書奨励に関する大臣表彰受賞のほか、各種講座や企画展示に工夫があり市民のニーズに応えている結果として評価できる、とのことであった。

最後にスポーツ分野であるが、総合評価から申し上げると、アフターコロナ（ウィズコロナ）にむけて、鶴岡市スポーツ推進計画後期改定計画の推進に敬意を表したいとの評価をいただいた。

個別事業を申し上げると、「ウォーキング等普及推進事業」では、コロナ感染予防の対策を講じながら、ウォーキングの普及とスポーツに親しむ機運の醸成に努めたことが評価される一方、「つるおかスポーツチャレンジ」については、市民への周知、申込と報告の簡略化により、特に働き世代の方への運動習慣の定着化を図っていただきたいとの意見を頂いた。

「体育施設整備・管理運営事業」では、施設利用人数も回復傾向にあることから、引き続き、市民誰もが安全・安心に利用できるよう努めてほしい、また、修繕計画を適切に行いながら、未使用の学校跡地等を活用するなど「まちのにぎわい創出」に向けた中核的なスポーツ施設整備を検討してほしいとの意見を頂いた。なお、旧鶴岡病院跡地への人工芝グラウンド整備については、市の財政負担軽減とアクセスを考慮した地域活性化への期待が寄せられた。

「鶴岡市スポーツ少年団本部支援事業」では、子どもたちを取り巻くスポーツ環境が転換期を迎える中、団員数の減少はほかと比べて最小限に抑えていることから、今後も、子どもがスポーツに親しむ機会・成長できる環境を整えていただきたい、との意見を頂いた。

なお、補足として「学校部活動の地域への段階的移行」について意見を

頂いた。内容は、地域クラブ化が進んでいるサッカー競技でさえ本市が先行しすぎている状況も垣間見えるとのことで、他地区や県等とも連携を密にしながら、拙速にならないことを望む、との要望が寄せられた。

今後のスケジュールとして、本日の協議、議決を経て最終決定した報告書を、9月初旬を目途に、鶴岡市議会議員に配付するとともに、市のホームページにも掲載し、広く市民の皆様に公表することとしている。

教育長

ただいまの議第21号について、質問、意見等はないか。

なければ、賛同の方は挙手をお願いします。

各委員

(全員挙手)

教育長

全員挙手により可決された。続いての議案であるが、日程第2議第22号は人事案件のため、また、日程第3議第23号は議会に上程される前の議題のため、非公開とすることに異議はないか。

各委員

異議なし。

教育長

異議なしと認め、議第22号から議第23号まで非公開とする。

(会議録は別記録とする)

教育長

続いて報告事項に入る。報告事項(1)及び(2)について、事務局より一括で報告をお願いします。

社会教育課長

藤沢周平記念館から2件紹介する。はじめに企画展について説明する。

藤沢周平氏が昭和48年に「暗殺の年輪」で直木賞を受賞されて今年で50年となることから、直木賞受賞50年記念企画展「藤沢周平と直木賞」を開催する。

デビュー作で直木賞候補作となった「溟い海」から受賞作「暗殺の年輪」までの初期作品を紹介する。

併せて直木賞への思い、候補作や受賞作の自己評価など、会社務めをしながら小説を書き始めたころから専業作家となるまでの藤沢氏の心境を手帳やエッセイから紹介する。会期は9月1日(金)から来年3月まで。

続いて講演会について説明する。

企画展と関連し10月22日(日)に、作家・藤沢周平誕生と「オール讀物」一デビューから直木賞受賞までを辿って一と題して、文藝春秋で女性初の「オール讀物」編集長であり直木賞選考会の司会を務められ、現在は第二文藝部長である川田美穂氏を講師に迎えて開催する。

企画展並びに講演会について、委員の皆様からもぜひ足を運んでいただきたい。

教育長

ただいまの報告について、質問、意見等はないか。

なければ、ほかに報告事項はあるか。

社会教育長

第18回鶴岡市芸術祭について説明する。

8月30日(水)から12月3日(日)まで、荘銀タクト鶴岡、鶴岡アート

フォーラム、中央公民館などを中心に開催する。今年度は45団体による38の公演のほか、協賛事業として各地域の文化祭も実施され、芸術の秋にふさわしい催しとなっている。

なお、県民芸術祭には29団体による22公演が参加する。

また、開幕式典は9月2日の11時から鶴岡アートフォーラムで開催される。

ぜひ、皆様にも芸術祭参加公演に来場いただきたい。

ただいまの報告について、質問、意見等はないか。

なければ、ほかに報告事項はあるか。なければこれをもって8月の定例教育委員会を終了する。

教育長

閉 会 （午後3時45分）